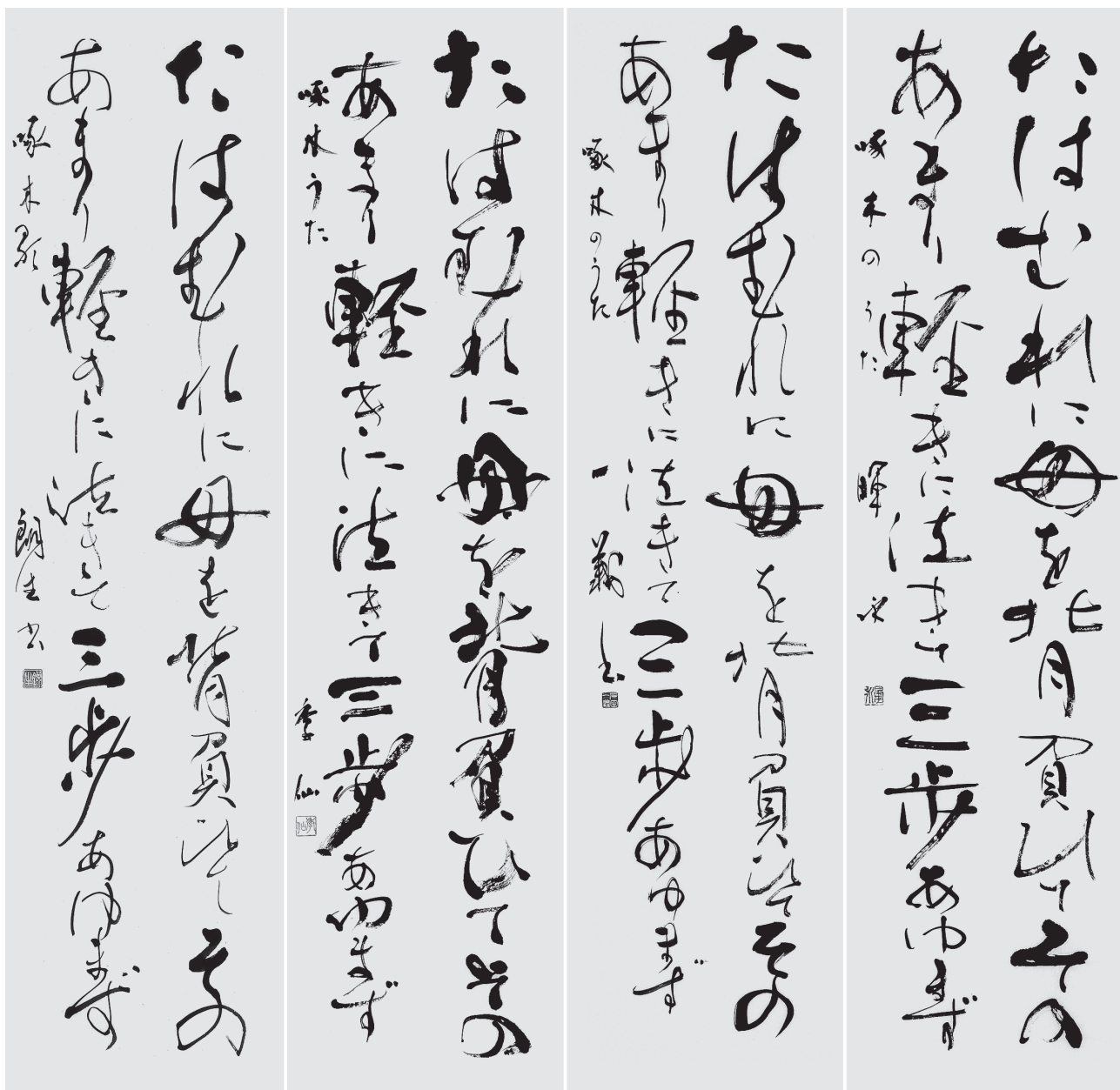


葛西玄涛先生選評

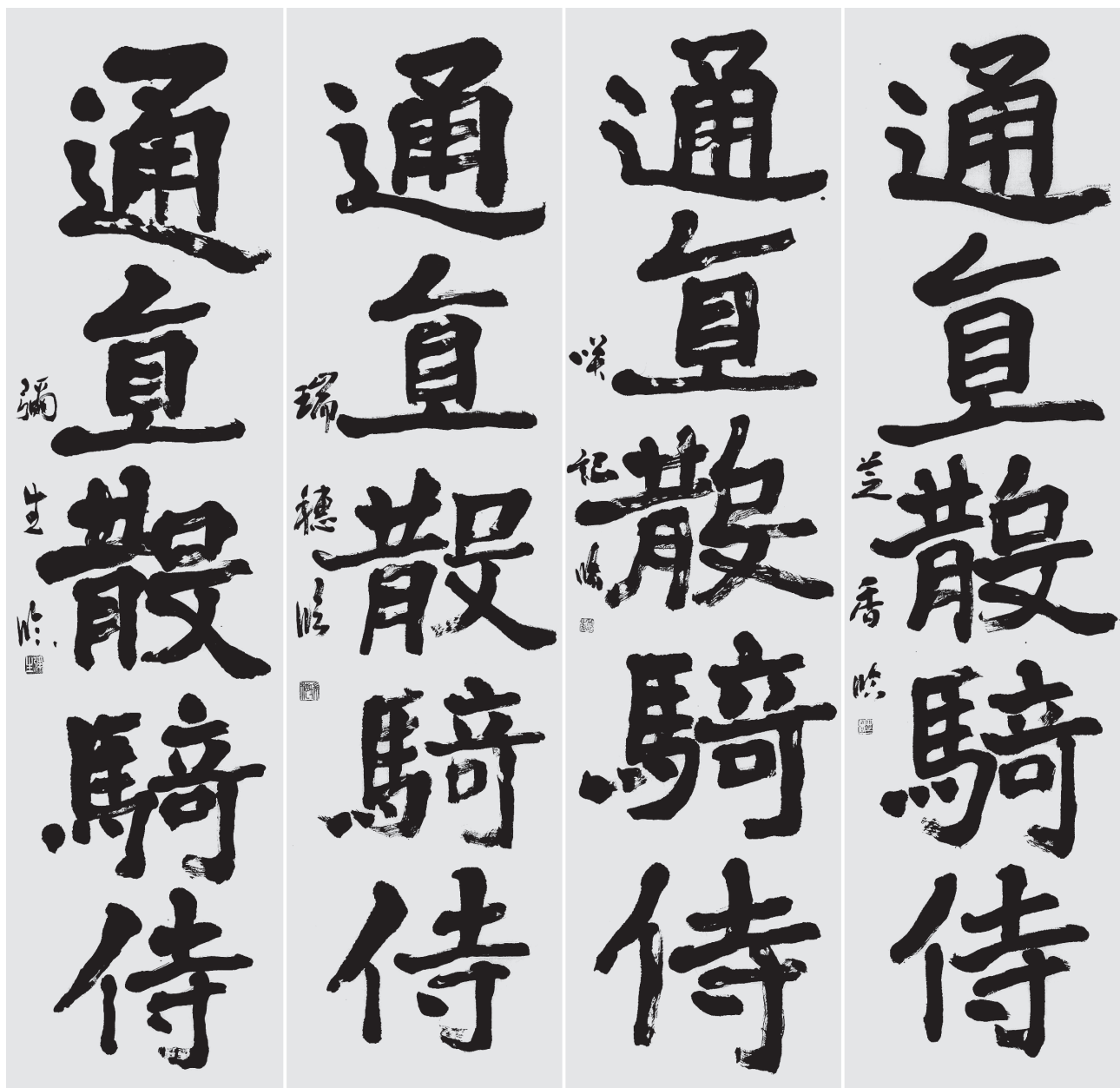


桑子暉永 推選
「母を背負ふ」優しさを澄んだ線で、かわいいう平仮名で表現されている。悲しみの後半部は、主張の強い直線で、悲しみに耐える強い意志を表現されている。

石田一義 推選
軽やかな線で、母への優しさの気持ちを表しています。「母・三步」の重要な単語は、潤筆で動きを激しくしており、使われている言葉を大切にしている。

小柳扶美子 推選
多彩な線で、歌に詠まれている複雑な心理背景が描かれているように思います。強弱曲直の線は、十分に楽しむことができるうえに、微妙な墨色が更に効果的。

石井朗生 推選
淡墨では作品にすることが難解な文字や内容と想っておりましたが、見事にうっちやられました。直筆の強い渴筆により曲線が多くて、強靱な作に仕上がった。



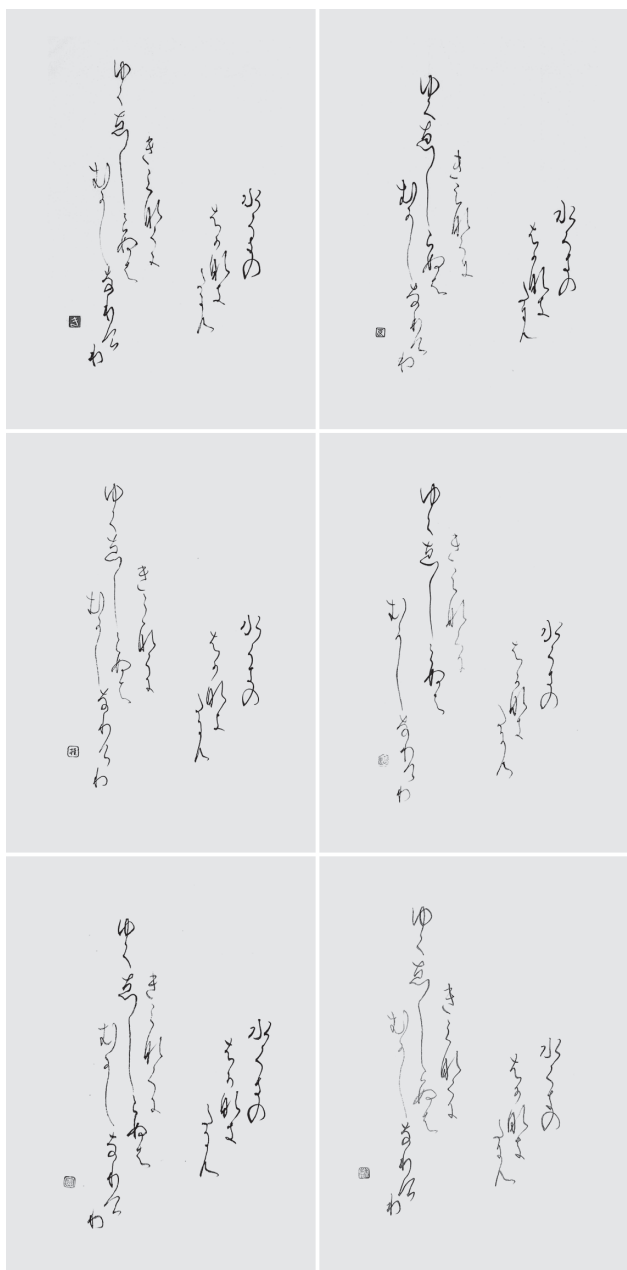
今井 芝香 推選
ゆつたりとした運筆、大らかな安らぐ雰囲気心地良い。原帖を良く観察してリズム良く、論經書詩の特徴を把握して見事です。余白も美しい。

高田 咲記子 推選
濃墨で力強く、迫力のある筆の運びは素晴らしいの一言ですね。呼吸のながさや、潤渇の変化も自然で申し分ありません。原帖の捉え方も良いです。章法も可。

清川 瑞穂 推選
参考作品を良く見て書作しています。運腕大きく明るい作品で、横画の粘りのある線質は自然です。全体のバランスが秀でていて、白と黒の調和が良い。

小淵 彌生 推選
墨色が良く、「通直侍」まで一気呵成に書かれた書は力強く立派で勝れています。宏遠な線質の深みと自然な渴筆が、作品効果上げています。感服しました。

吉澤真理先生選評



土田きみ子 八段
冴えた線とリズム、
カルな筆運びから
生まれる潤渇の変
化が美しく表現さ
れています。古筆
の特色もよく捉え
ています。

森野桂子 七段
穏やかな書きぶり
と流れるような連
綿線に好感がもて
ます。渴筆部分に
厚み加わるとメリ
ハリがつき更に
魅力ある作に。

東 憲子 六段
大らかで伸びやか
な心地よい作です。
行間に変化をつけ
墨量と墨つぎの位
置に配慮し、カス
レが増すと奥行き
が出ます。

織田良子 師範
凛とした姿と線質
が見事です。迷い
のない筆運びで、
墨色、潤渇の変化
も巧みで大変堂々
とした作となりました。

村上享子 師範
気ばらずに自然体
で書き進み温かみ
を感じる作です。
無理のない運筆が
自然な美しい墨色
を生み、かなの優
美を感じます。

達 美峰 準師
素直で伸びやかな
線質がとても爽や
かです。あと少し
墨色を濃くすると
渴筆部分が生き生
きとして更に深み
が増します。

久保田淳子先生選評



名久井 憲子 推選
しっかり浮沈を効かせ堂々
と主張した安定感ある運筆
に惹かれる。ただ二行目
「みねに」部分、墨量とり
ズムで一工夫あればずっと
引き立つと思う。

上山順子 推選
句意をしっかりと自分の心に
捉え、文字の形、動きを優
雅なリズムで仕上げてある。
終句で梅雨時の風景を表現
して暗くならず、むしろ明
るさも感じられる作品。

足立翠泉先生選評



伊東慶花 師範

リズムよく強靱な運筆で纏められた威厳のあるどっしりとした落ち着きが際立つ。変幻自在な表現の中でこの二文字の風格をよく捉えている。

坂元理葉 師範

切れ味のよい爽やかな線質から清澄な趣が窺え、原碑の雰囲気と銜いのない素直な温かい筆致に魅了される。落款の位置も確かで完成度が高い。

古橋恵美子 準師

多様な変化の中で泰然とした安定感があり重厚な特徴を余すところなく表現された。懐が広く渾然とした温かい雰囲気があり、渴筆の線が美しい。

岸田憲也 六段

原帖の特徴を堂々と掌握し余裕のある運筆で確かな表現となった。墨色も鮮やかな立派な作品。落款の筆致もよくマッチさせて味わい深い。

武藤小百合 準六

威風堂々の運筆素晴らしい。強靱な中に包容力が窺え、柔らかい温もりがある。潤渇の美しい線は一入作品を際立たせた。落款が優しすぎて残念。

市川寛嚴 準三

暢達した線で悠揚と運筆され気概のある立派な作。渴筆の表現が闊達なリズム感をひき出し更に魅力ある快作となった。落款も丁寧で好ましい。

川畑彩春 師範

暢びのある線で滑らかに運筆され、特に二行目は素晴らしい。熟れた表現は習熟された力量の賜。空間を縫ったゆるぎない筆致に魅了される。

高橋麗水 師範

墨量豊かに厚みのある顔真卿の特徴を網羅した筆致で纏められた白眉の作。しつとりとした線の趣は本当に素晴らしい。雅印のないのが寂しい。

柘植奈美季 八段

細やかな配慮で全体をしつとりと纏め、特徴を丁寧に把握した線質に感情のこもった深い味わいを感じる。更に遅速、潤渇の変化を望みます。

鈴木浩子 六段

大らかな運筆で暢びのある明るさが見事。完成度は高いが今一步手首を柔らかく線の変化を加えたい。落款は素晴らしい。

三井島茜舟 六段

紙面が一入く感じられる気宇の大きい暢びやかな運筆に感銘。原帖もよく研鑽され、「蘭」の向勢、「慰」の筆致等顔法の特徴を捉え纏まった。

岸本寿萌 四段

原帖の書法をよく練習されている。重厚な線と軽妙な筆致が交錯しており、難しい古典ですが「庭・毎」見事。落款がやや貧弱なのが惜しい。